



大阪錦繪新聞

第 九 号

笹木芳龍記

并 禹

九 市

去る年西京またひ掃る悪人と。噂の高き
 一件。下京第二十二區八坂庚申堂の
 東にて。淺井柳塘と云再師。春多
 他国へ出仕業。行跡は母と子と。
 妻と弟子と。田主居させ。歳の暮も
 をりえ。入費あんと出先を。出雲の
 国より儲け金。届けーと見て。力分
 子の。新藏が。ト悪心の。又比く。あわい
 さ。老女の。咽喉と刺し。ぬいて。内室へ
 袈裟切りと云。子へ。柱縛り。手足を切り。ま
 其。上は金子と。師匠の家。又火を附て。逐電を
 せ。し。十二月。元日の夜。の。道も。法も。
 又。さ。さ。か。さ。と。て。あ。ま。り。あ。る。天。罰。い。く。さ
 の。う。あ。へ。く。美。濃。の。国。よ。て。め。一。く。も。死。罪。ま
 り。の。新。藏。へ。生。国。飛。弾。の。高。山。あ。り。し。と

石和板

